

2023年2月期 決算説明会



HP www.m-ikkou.co.jp

2023年4月12日
代表取締役社長 南野 利久

目次

I .2023年2月期 決算概要	…2	III .通期業績見通しと成長戦略	…17
1-連結業績ハイライト	…3	1 -2024年2月期 通期業績見通し	…18
2-連結売上高	…4	2 -成長戦略	…19
3-連結収益	…5		
II .セグメント別概要	…6	IV .過去10年間の業績・財務	…20
1 -調剤薬局事業		1 -過去10年間の売上高・利益推移	…21
(1) 調剤薬局事業の業績	…7	2 -過去10年間の現預金・有利子負債推移	…22
(2) 調剤薬局事業の概況①	…8	3 -ヘルスケア事業の投資額	…23
➤ 既存店処方箋枚数			
(3) 調剤薬局事業の概況②	…9	V .財務指標等の概況	…24
➤ 処方箋枚数（全店ベース）・調剤売上高		1-連結貸借対照表	
(4) 調剤薬局事業の概況③	…10	(1) 資産の部	…25
➤ 店舗展開・店舗マップ		(2) 負債・純資産の部	…26
(5) 調剤薬局事業の概況④	…11	2-連結キャッシュ・フロー	…27
➤ 介護施設を中心とする在宅市場 への取り組み		3-有利子負債と資産・収益のバランス	…28
2 -ヘルスケア事業		4-業績および資産・負債等の推移	…29
(1) ヘルスケア事業の業績	…12	5-主な経営指標の推移	…30
(2) ヘルスケア事業の概況①	…13		
➤ 施設内訳・施設マップ		VI .配当政策	…31
3 -医薬品卸事業		1-配当政策	…32
(1) 医薬品卸事業の業績	…14		
(2) 医薬品卸事業の概況	…15		
➤ 事業展開と営業拠点			
4 -不動産事業			
(1) 不動産事業の業績	…16		

I. 2023年2月期 決算概要

連結業績ハイライト

- 売上高は33,897百万円。前期比+0.9%増加、修正計画比▲0.04%の未達。
- 経常利益は1,227百万円。前期比▲9.6%減少、修正計画比+3.4%の達成。

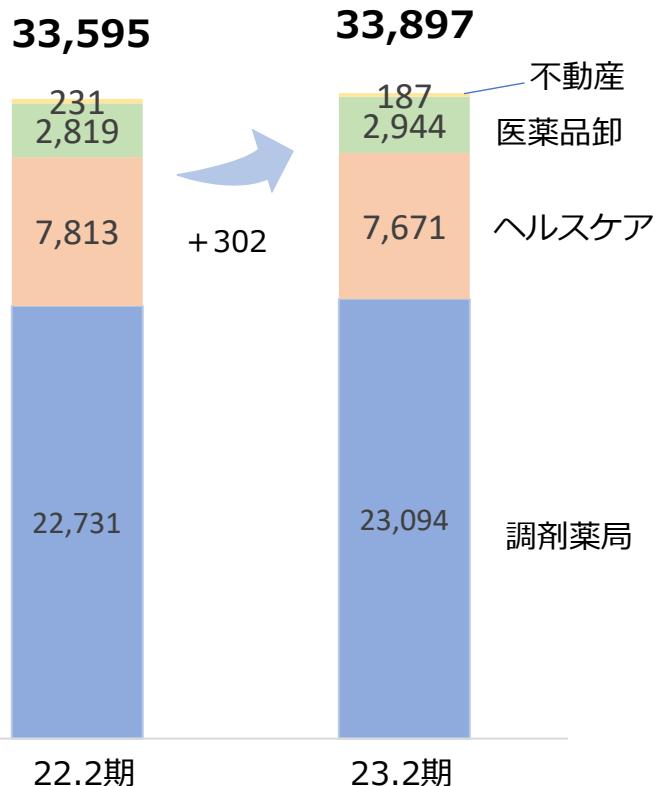
(単位：百万円)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 修正計画	23.2期 実績	前々期比		前期比		修正計画比	
	①	②	③	④	④-①	④/①	④-②	④/②	④-③	④/③
売上高	31,603	33,595	33,912	33,897	+2,294	107.3%	+302	100.9%	▲ 15	100.0%
売上原価	28,400	29,981	—	30,714	+2,314	108.2%	+733	102.5%	—	—
売上総利益	3,203	3,614	—	3,182	▲ 21	99.4%	▲ 432	88.1%	—	—
(対売上比)	10.1%	10.8%	—	9.4%	—	—	—	—	—	—
販管費	2,175	2,338	—	2,247	+72	103.3%	▲ 91	96.1%	—	—
営業利益	1,028	1,275	966	935	▲ 93	91.0%	▲ 340	73.3%	▲ 31	96.8%
(対売上比)	3.3%	3.8%	2.8%	2.8%	—	—	—	—	—	—
経常利益	1,201	1,357	1,187	1,227	+26	102.1%	▲ 130	90.4%	+40	103.4%
(対売上比)	3.8%	4.0%	3.5%	3.6%	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	1,441	1,476	—	1,313	▲ 128	91.1%	▲ 163	89.0%	—	—
(対売上比)	4.6%	4.4%	—	3.9%	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	834	852	781	759	▲ 75	91.0%	▲ 92	89.1%	▲ 22	97.3%

連結売上高

売上高 内訳（前期比）

- 主力の調剤薬局の売上が微増となり、連結売上高は前期比 + 302百万円増加。

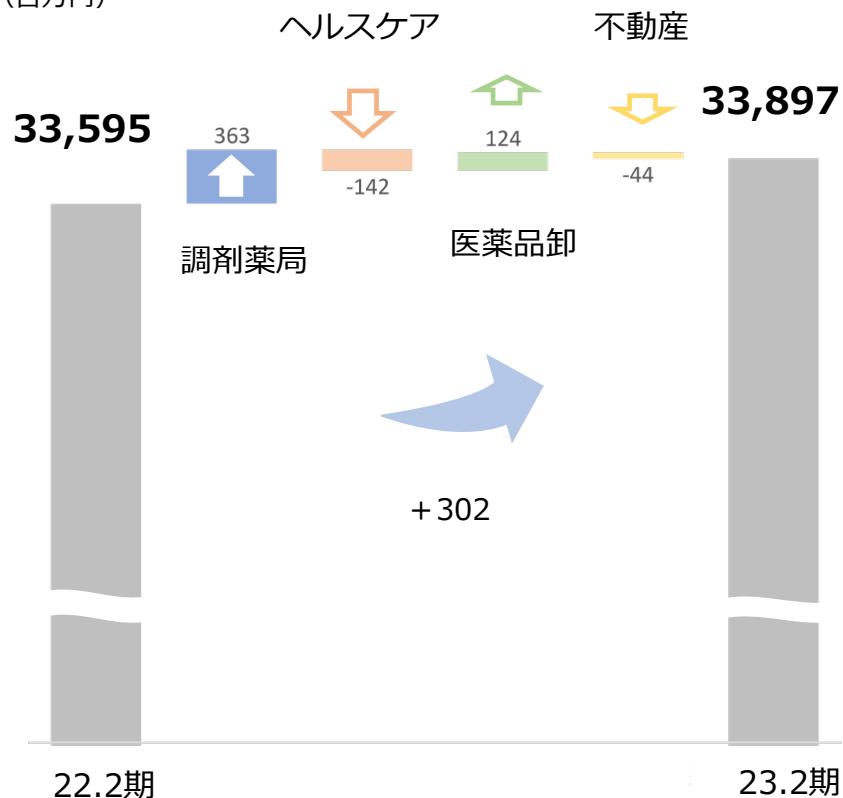
(百万円)



売上高 増減要因（前期比）

- ヘルスケア、不動産は売上微減。医薬品卸は増収。

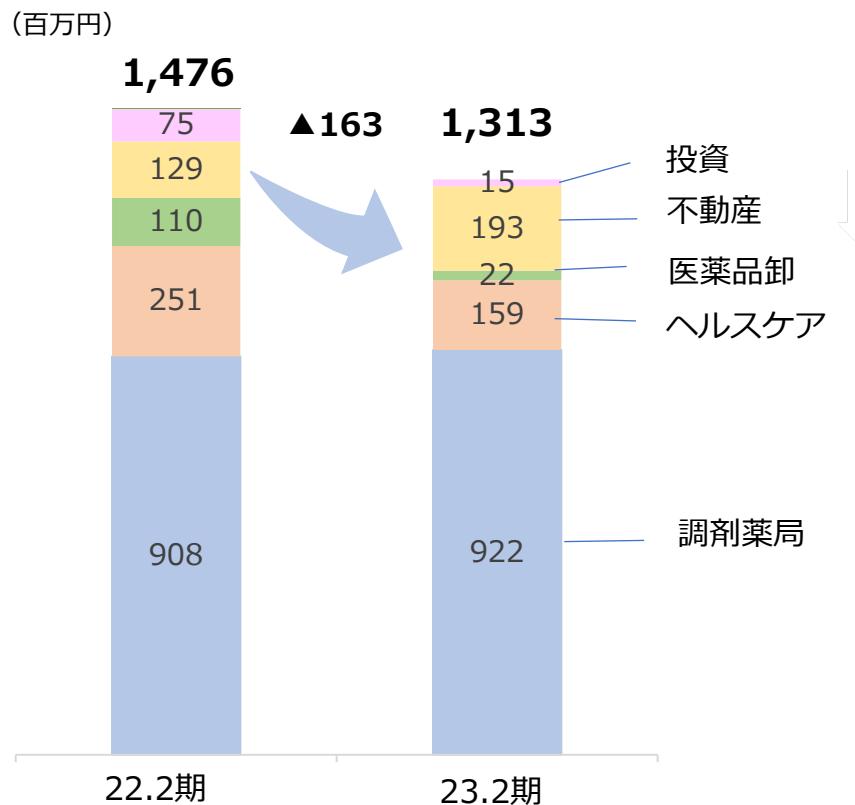
(百万円)



連結収益

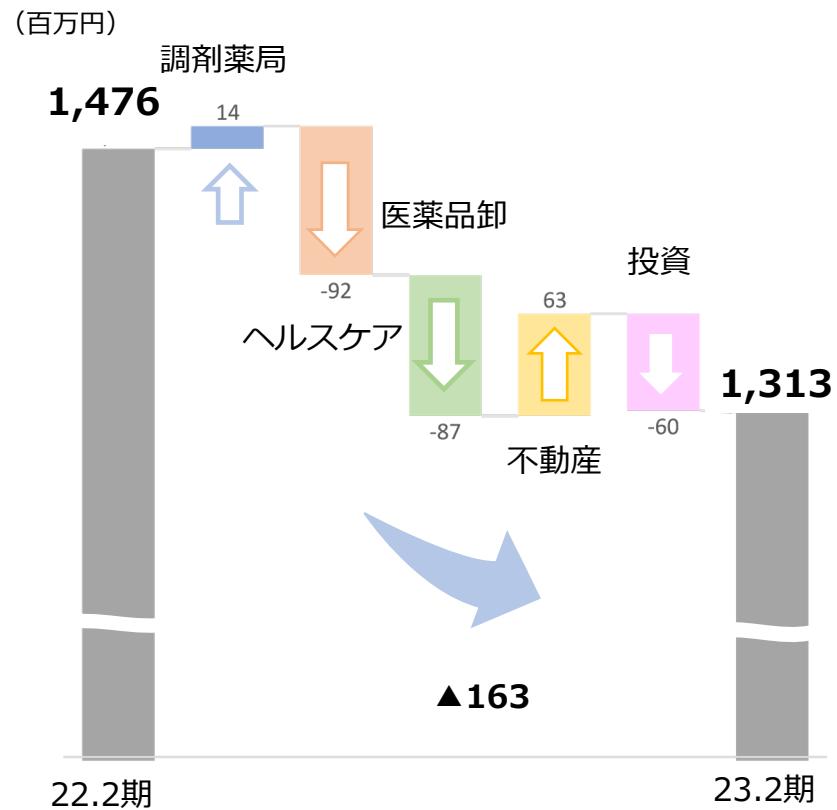
税引前利益 内訳（前期比）

- ヘルスケア、医薬品卸が大幅減益。有価証券売却益も減少し、連結ベースで▲163百万円の減益。



税引前利益 増減要因（前期比）

- ヘルスケアはコロナのクラスター発生等が要因に。医薬品卸は薬価改定、のれん一括償却の影響有り。



II. セグメント別概要

セグメント別業績（調剤薬局事業）

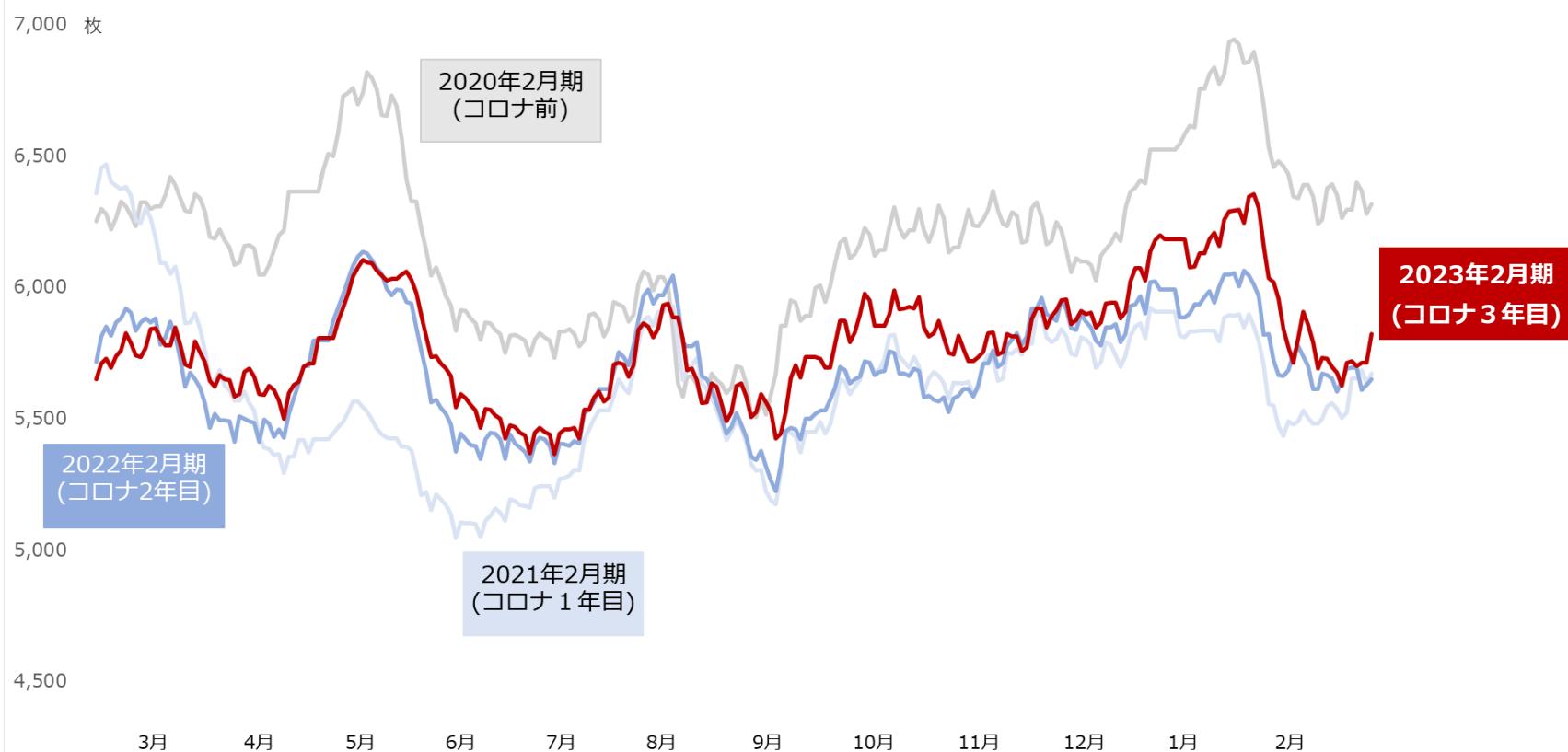
- 処方箋枚数は前期比1.8%増加。調剤薬局事業全体の売上は前期比1.6%増加。各利益項目は、既存店処方箋枚数の微減に加え、労務費主体にコスト増から減益に。

(単位：千枚、百万円)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	前々期比		前期比	
	①	②	③	③ - ①	③ / ①	③ - ②	③ / ②
処方箋枚数	1,699	1,753	1,784	+84	105.0%	+30	101.8%
売上高	22,038	22,731	23,094	+1,056	104.8%	+363	101.6%
売上原価・販管費	21,330	21,858	22,258	+927	104.4%	+399	101.8%
労務費+人件費 (対売上比)	3,897	3,950	4,086	+188	98.0%	+135	101.4%
17.7%	17.4%	17.7%	—	—	—	—	—
営業利益	708	872	836	+128	118.2%	▲ 35	95.9%
(対売上比)	3.2%	3.8%	3.6%	—	—	—	—
経常利益	777	891	928	+151	119.5%	+36	104.1%
(対売上比)	3.5%	3.9%	4.0%	—	—	—	—
税引前利益	695	908	922	+227	132.8%	+14	101.6%
(対売上比)	3.2%	4.0%	4.0%	—	—	—	—
店舗数（期末時点）	93	93	95	+2	—	+2	—

調剤薬局事業の概況①

既存店処方箋枚数 … 2020年2月期（コロナ前）～2023年2月期の4期比較

- 23.2期の既存店応需処方箋枚数は上期は微減にとどまったものの下期は回復。
特に新型コロナウィルス第8波収束以降は持ち直し、通期で微増。



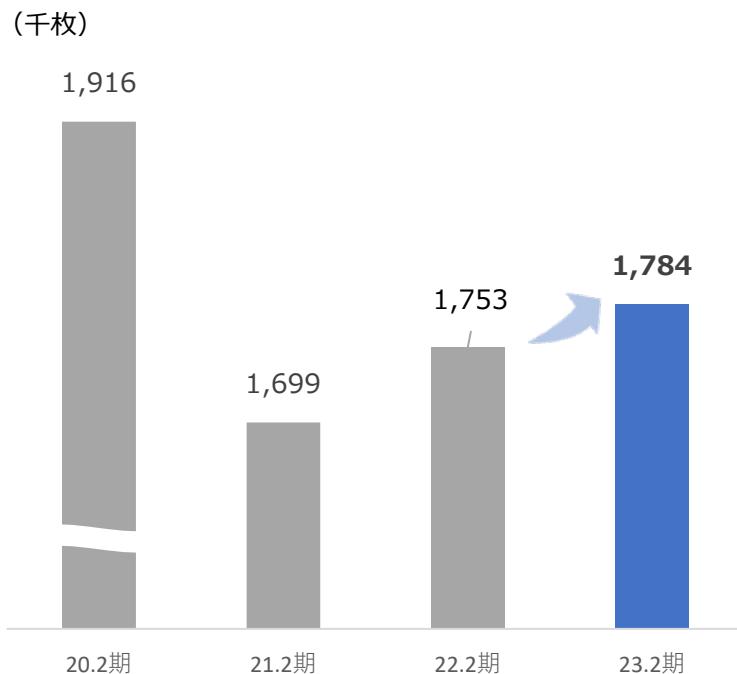
（注）期初（3月）第1週の月曜日を起点に同曜日の21日移動平均ベースで比較

調剤薬局事業の概況②

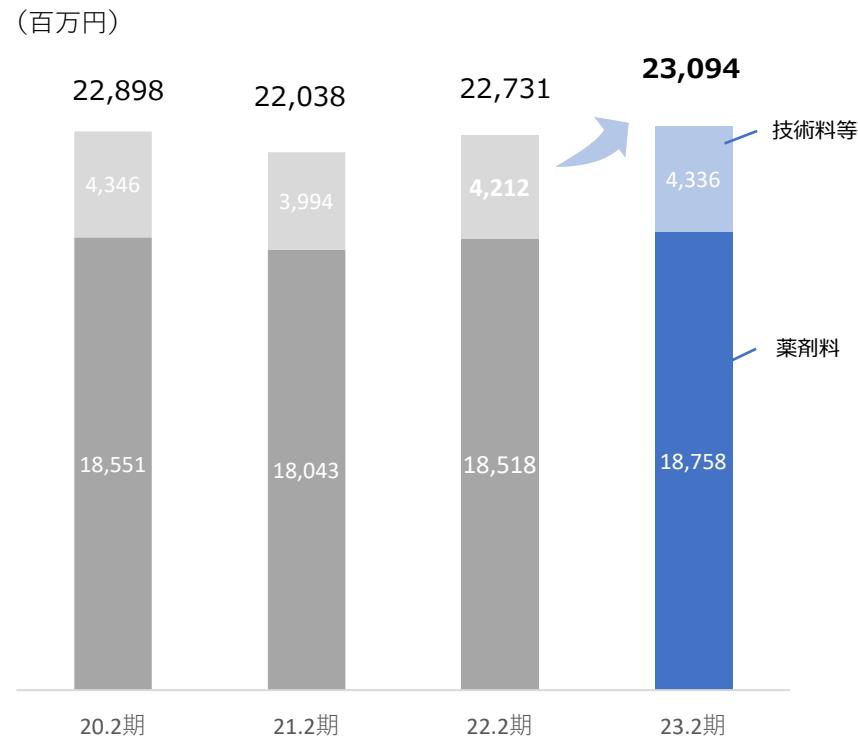


全店ベースの処方箋枚数は、新規出店効果等により既存店の処方箋枚数を力
バー。調剤売上高はコロナ前（20.2期）の水準へ。

■ 処方箋枚数（全店ベース）



■ 調剤売上高

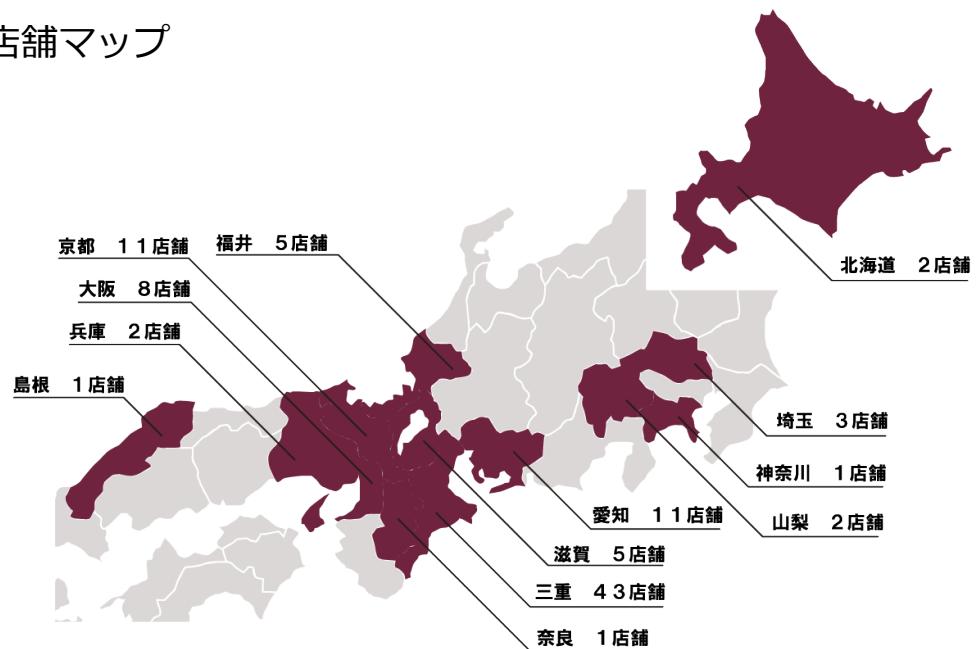


調剤薬局事業の概況③

店舗展開

	16.2期末	17.2期末	18.2期末	19.2期末	20.2期末	21.2期末	22.2期末	23.2期末
開局店舗数	2	1	2	2	2	1	2	2
M&A取得店舗数	1	1	0	1	0	0	0	0
閉局店舗数	1	1	3	1	4	1	2	0
期末店舗数	93	94	93	95	93	93	93	95

店舗マップ

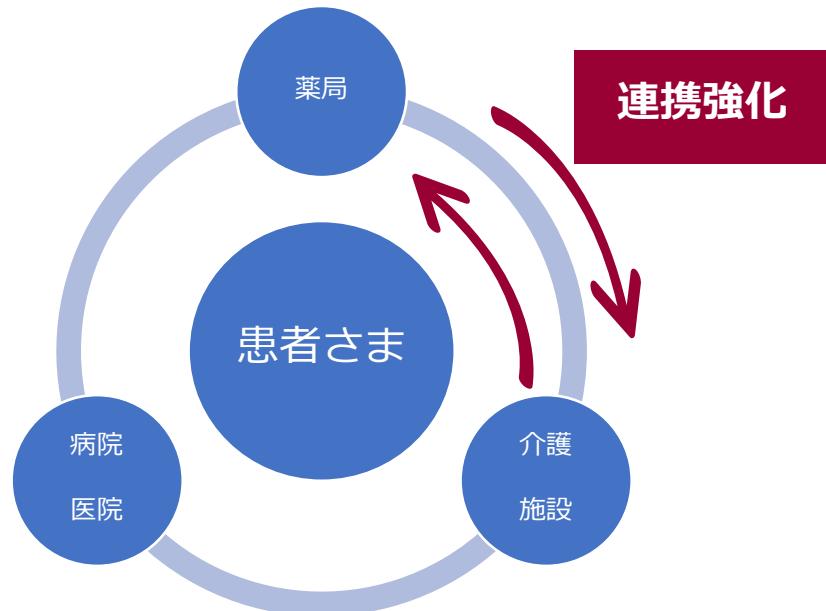


✓ 店舗数は7期前
(16.2期) 以降、
大きな増減はない
ものの店舗の入替を
実施

✓ M&Aは直近実績は
ないものの情報収集
のうえ推進中

介護施設を中心とする在宅市場への取り組み

- 2022年2月に介護施設の入居者様を薬剤師が訪問する店舗を開局。
需要は順調に拡大中。（株式会社ヘルシー薬局）
- 既存店舗においても当社グループの介護施設との連携に注力しており
薬局と介護施設のシナジーを発揮。



名称	株式会社ヘルシー薬局	
店舗所在地	愛知県一宮市桜2丁目10番31号	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 安達佳之	
資本金	10百万円	
設立年月日	2021年12月13日	
大株主及び持株比率	株式会社メディカル一光 ファーマクラスター株式会社*	50% 50%

*東邦ホールディングス株式会社100%出資連結子会社

セグメント別業績 (ヘルスケア事業)

▶ 通所介護事業所および複数の施設で新型コロナのクラスターが発生。稼働率が一時的に低下し、入居率も伸び悩み。労務費増加、光熱費高騰等も重なり減益に。

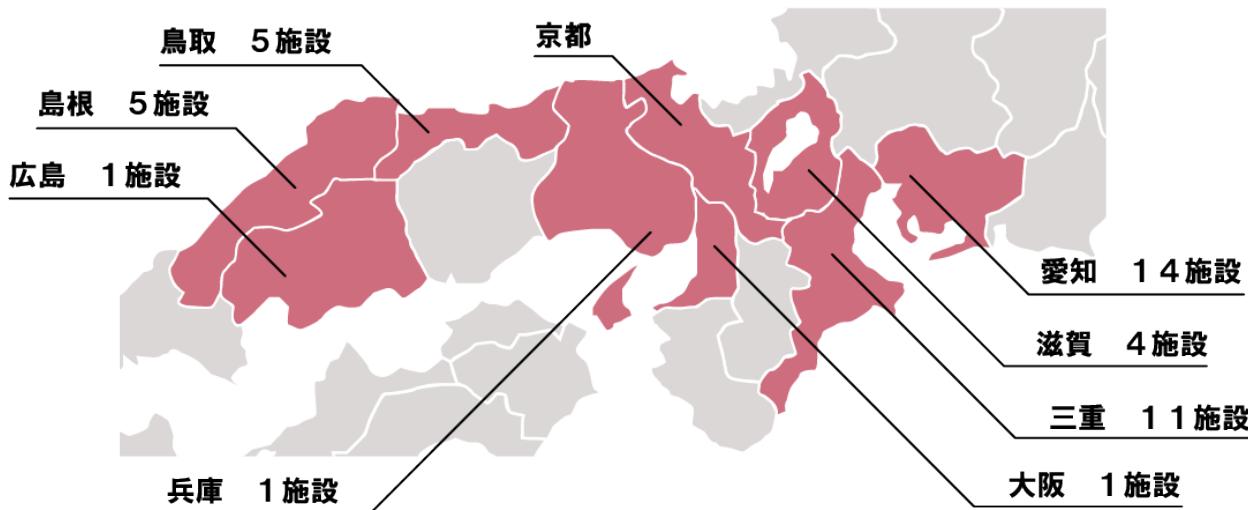
(単位：百万円、室)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	前々期比		前期比	
	①	②	③	③-①	③/①	③-②	③/②
売上高	6,680	7,813	7,671	+991	114.8%	▲ 142	98.2%
居住系介護サービス	4,009	4,956	4,862	+853	121.3%	▲ 94	98.1%
通所系介護サービス	1,582	1,667	1,712	+130	108.2%	+45	102.7%
福祉用具・その他	1,088	1,190	1,095	+7	100.7%	▲ 95	92.1%
売上原価・販管費	6,515	7,595	7,700	+1,185	118.2%	+105	101.4%
労務費+人件費 (対売上比)	3,712	4,363	4,456	+744	120.0%	+93	102.1%
	55.6%	55.8%	58.1%	-	-	-	-
営業利益 (対売上比)	165	218	▲ 28	▲ 193	-17.3%	▲ 247	-13.1%
	2.5%	2.8%	-0.4%	-	-	-	-
経常利益 (対売上比)	256	255	93	▲ 163	36.3%	▲ 162	36.4%
	3.8%	3.3%	1.2%	-	-	-	-
税引前利益 (対売上比)	256	251	159	▲ 97	62.1%	▲ 92	63.3%
	3.8%	3.2%	2.1%	-	-	-	-
入居居室数(期末時点)	1,417	1,417	1,417	0	-	0	-

ヘルスケア事業の概況①

施設内訳

有料老人ホーム	34 施設
サービス付き高齢者向け住宅	1 施設
グループホーム	7 施設
居住系介護施設 (合計)	42 施設
入居定員数	1,417 人

施設マップ



(2023年2月末)

ショートステイ	1 施設
小規模多機能ホーム	10 施設
通所介護事業所	22 事業所
居宅介護支援事業所	18 事業所
訪問介護事業所	9 事業所
訪問看護事業所	3 事業所
福祉用具レンタル・販売	5 拠点

セグメント別業績（医薬品卸事業）

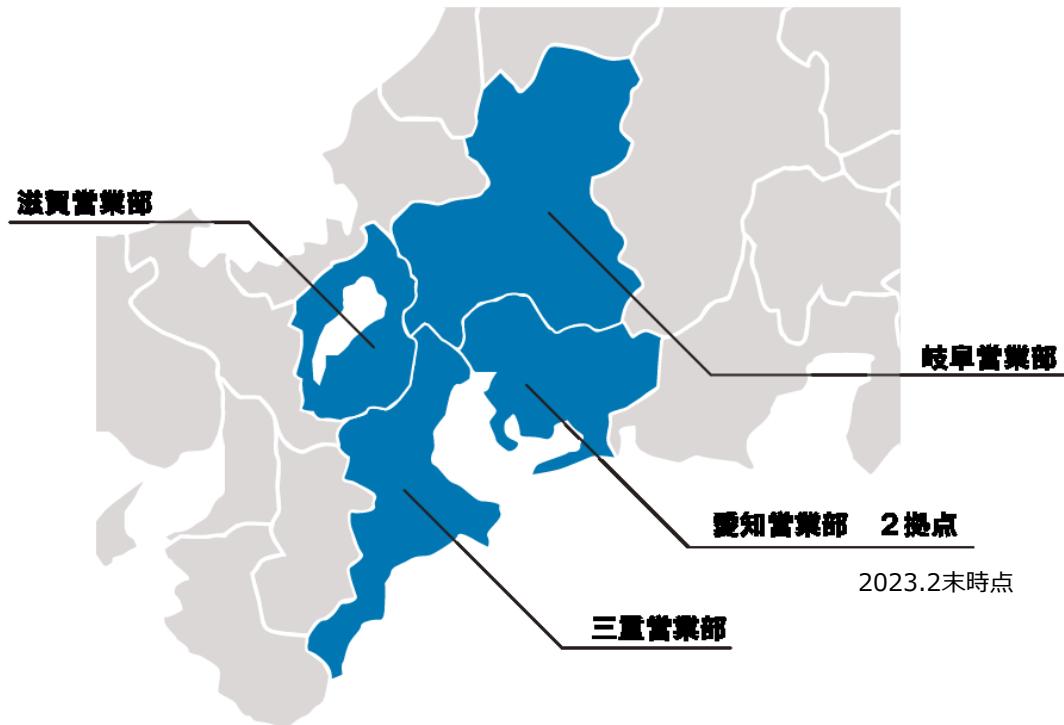
- ▶ ジェネリック医薬品の安定供給が課題となる中、営業体制強化に注力。しかしながら、薬価改定の影響から売上、収益共に前期比マイナスに。

(単位：百万円)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	前々期比		前期比	
	①	②	③	③ - ①	③ / ①	③ - ②	③ / ②
売上高	2,657	2,819	2,944	+287	110.8%	+125	104.4%
営業利益	82	113	57	▲ 25	69.4%	▲ 56	50.4%
(対売上比)	3.1%	4.0%	2.0%	—	—	—	—
経常利益	78	110	53	▲ 25	67.2%	▲ 57	47.9%
(対売上比)	3.0%	3.9%	1.8%	—	—	—	—
税引前利益	78	110	22	▲ 56	29.1%	▲ 88	20.7%
(対売上比)	3.0%	3.9%	0.8%	—	—	—	—

事業展開

- ▶ 三重県・岐阜県・滋賀県・愛知県の医療機関へジェネリック医薬品を販売

営業拠点



- ▶ 2022年3月1日付で
(株)メディカルー光が
大豊薬品(株)を吸収合併
- ▶ 2023年3月1日付で
豊橋営業所を閉鎖

セグメント別業績（不動産事業）



損益

- ▶ 賃貸不動産の一部売却により売却益を計上し税引前利益は増益に。

(単位：百万円)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	前々期比		前期比	
	①	②	③	③ - ①	③/①	③ - ②	③/②
売上高	227	231	187	▲ 40	82.5%	▲ 44	80.8%
営業利益	119	129	124	+5	104.7%	▲ 5	96.1%
(対売上比)	52.4%	56.0%	66.6%	—	—	—	—
経常利益	117	129	172	+55	146.6%	+43	133.2%
(対売上比)	51.9%	56.0%	92.3%	—	—	—	—
税引前利益	117	129	193	+76	164.0%	+64	149.0%
(対売上比)	51.9%	56.0%	103.3%	—	—	—	—

賃貸不動産利回り

(単位：百万円)	取得価格	23.2月末 簿価	年間賃料	利回り (取得価格ベース)	利回り (簿価ベース)
	①	②	③	③/①	③/②
グループ全体	2,460	1,345	185	7.5%	13.8%
メディカル一光グループ	1,444	960	79	5.5%	8.2%
ヘルスケア・キャピタル	1,016	384	106	10.5%	27.8%

Ⅲ. 通期業績見通しと成長戦略

2024年2月期 通期業績見通し



(単位：百万円)	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	24.2期 計画	23.2-24.2期 増減	23.2-24.2期 比率
			①	②	②-①	②/①
売上高	31,603	33,595	33,897	34,620	+723	102.1%
営業利益	1,028	1,275	935	1,140	+205	122.8%
(対売上比)	3.3%	3.8%	2.8%	3.3%	—	—
経常利益	1,201	1,357	1,227	1,180	▲ 47	95.8%
(対売上比)	3.8%	4.0%	3.6%	3.4%	—	—
税引前当期純利益	1,441	1,476	1,313	1,320	+7	100.5%
(対売上比)	4.6%	4.4%	3.9%	3.8%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	834	852	759	765	+6	100.5%

当社の強みを活かした経営の実践

- ☑ M&Aの推進（調剤薬局事業・ヘルスケア事業）
- ☑ 1店舗当たりの売上増の強化（調剤薬局事業）
- ☑ グループ経営の連携～主要3事業のシナジー発揮
- ☑ アライアンスの強化

計数目標

- ▶ 中期経営計画（2024年2月期最終年度）

売上高350億円
経常利益15億円



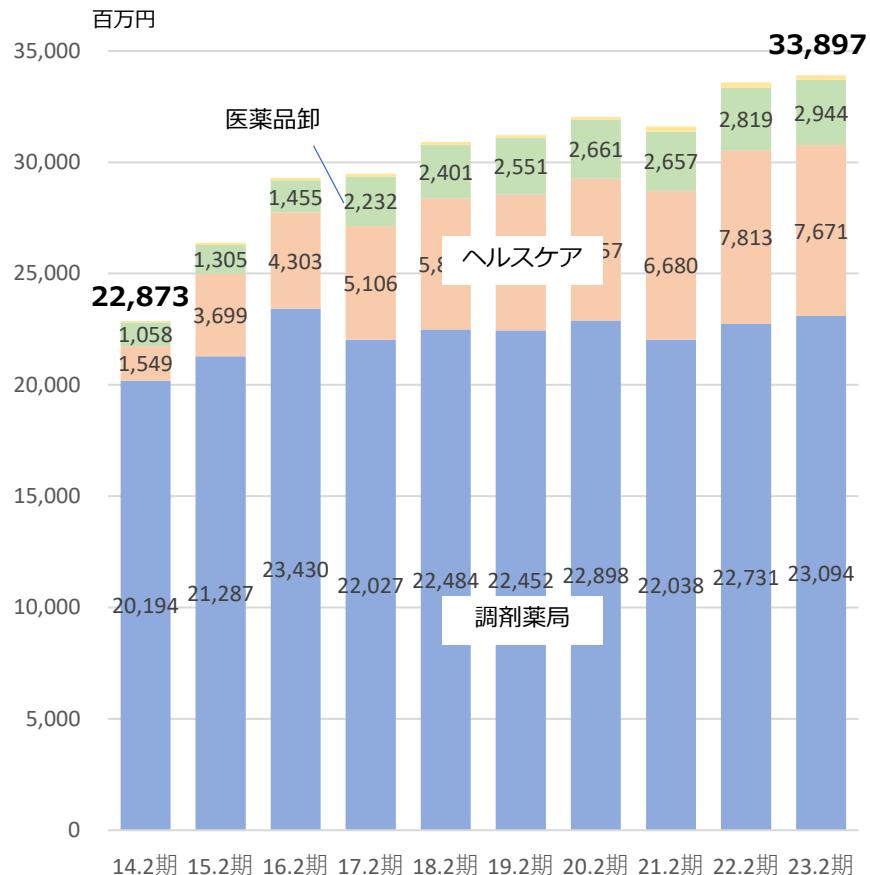
売上高346億円
経常利益11億円

- ☑ 今期中に次期中期経営計画を策定予定

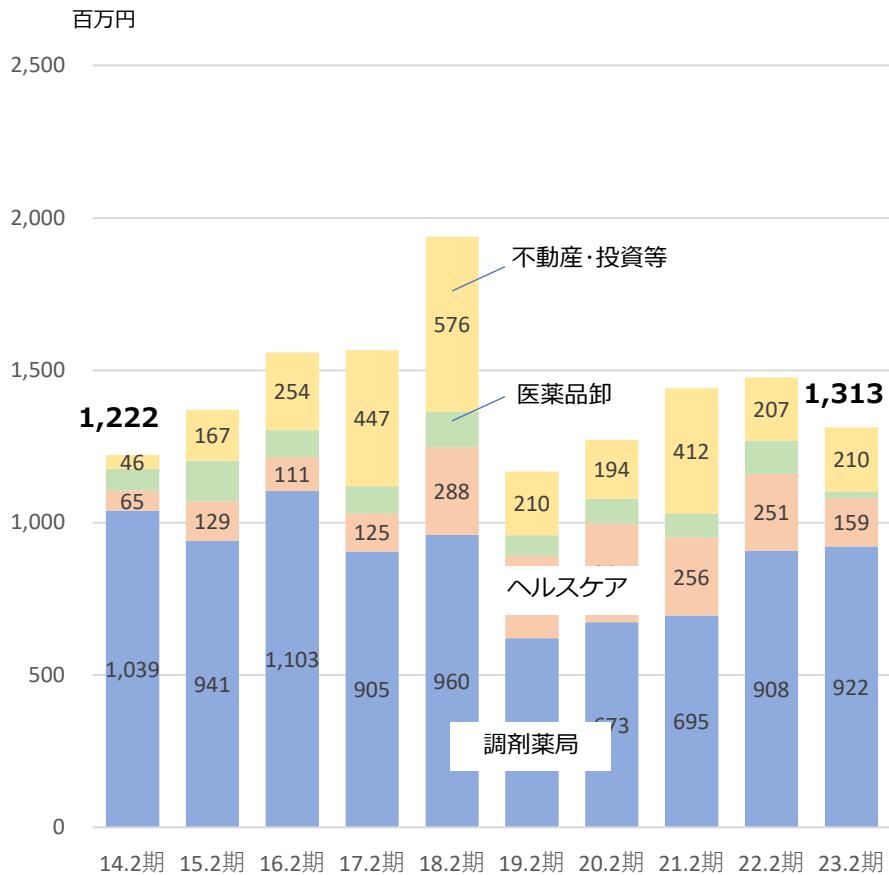
IV. 過去10年間の業績・財務

過去10年間の売上高・利益推移

連結売上高推移

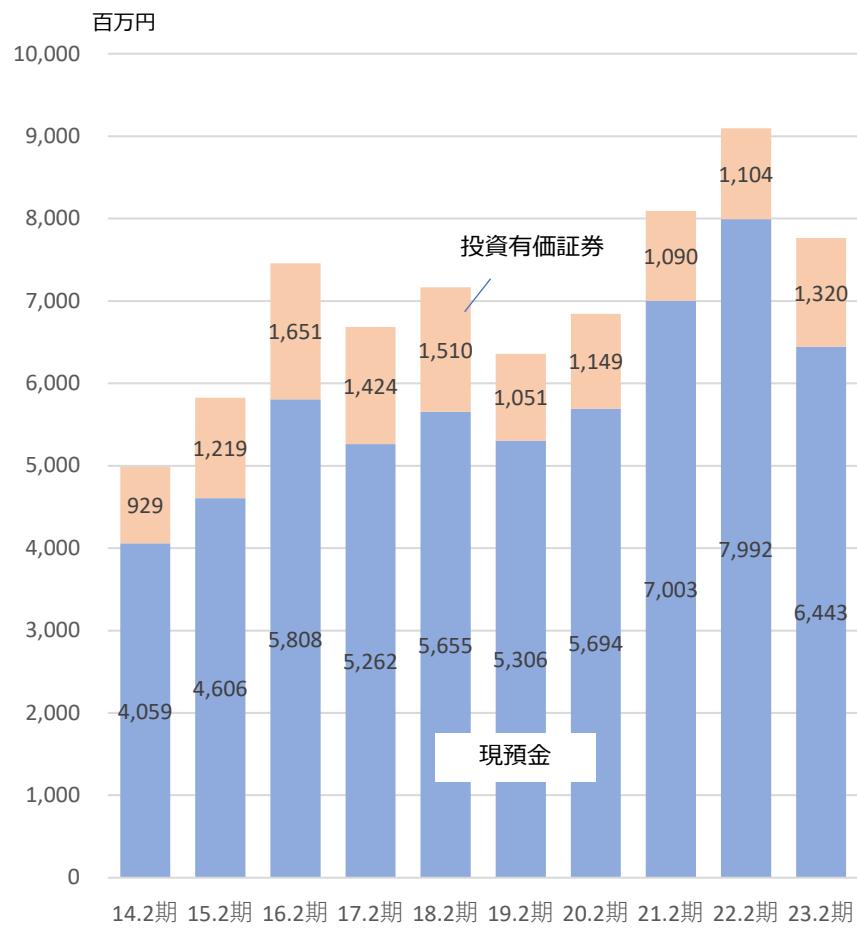


連結税引前利益推移

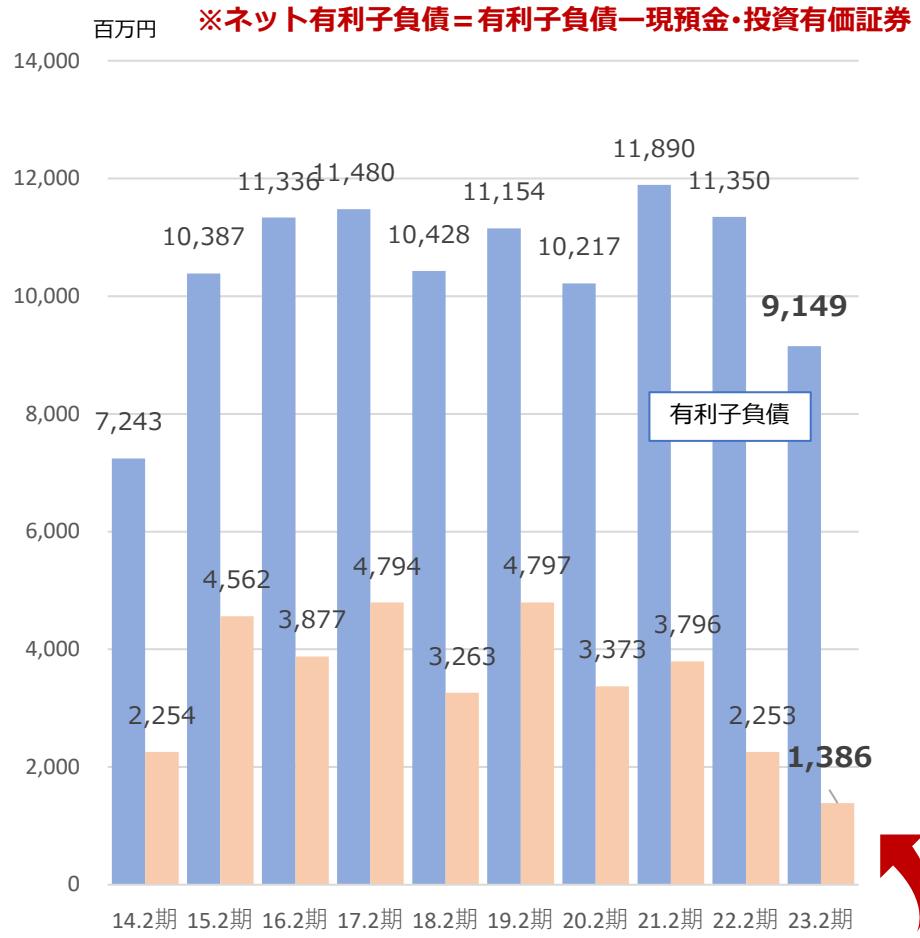


過去10年間の現預金・有利子負債推移

現預金・投資有価証券推移

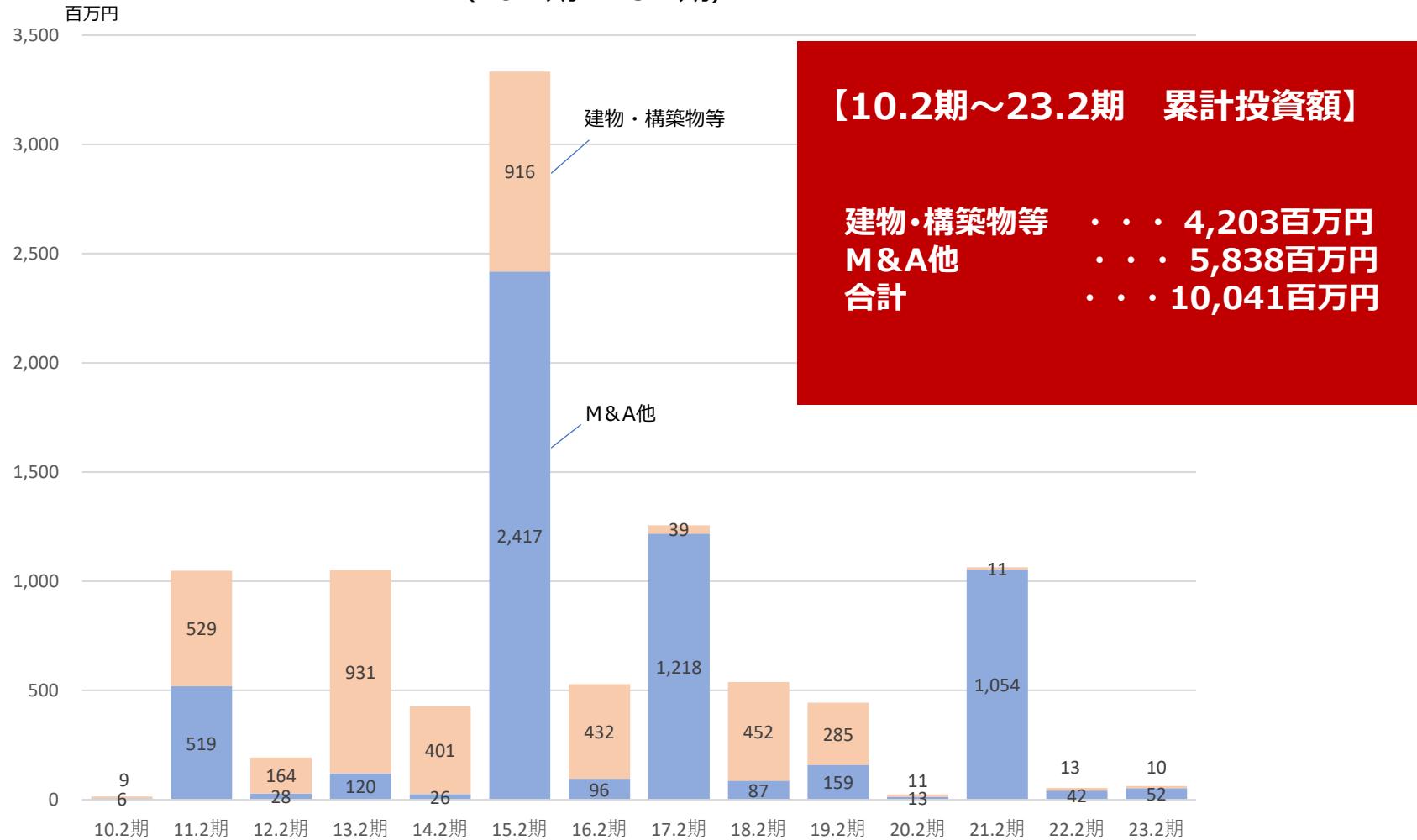


ネット有利子負債推移



ネット有利子負債

ヘルスケア事業の投資額推移 (10.2期～23.2期)



V. 財務指標等の概況

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)	20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	前期末 増減
流動資産					
現預金	12,183	13,654	14,577	13,239	▲ 1,338
売掛金	5,694	7,003	7,992	6,443	①▲ 1,549
商品	4,660	4,737	4,890	5,009	②+119
	1,141	1,095	1,214	1,228	③+14
有形固定資産					
建物・構築物	9,986	10,114	9,864	9,587	▲ 277
土地	6,309	6,185	5,825	5,506	④▲ 319
	3,158	3,176	3,739	3,762	⑤+23
無形固定資産					
のれん	1,373	1,946	1,713	1,478	▲ 235
	1,209	1,749	1,536	1,296	⑥▲ 240
投資その他の資産					
投資有価証券	2,649	2,837	2,938	3,199	+261
敷金及び保証金	1,149	1,090	1,104	1,320	+216
	739	907	906	1,047	+141
固定資産					
	14,010	14,899	14,516	14,266	▲ 250
資産合計	26,193	28,554	29,094	27,505	▲ 1,589

①現預金

- ・新規借入抑制に伴い減少

②売掛金

- ・調剤薬局事業+63
- ・医薬品卸事業+86
- ・その他 ▲31

③商品

- ・調剤薬局事業+32
- ・医薬品卸事業▲32
- ・その他 +14

④建物

- ・減価償却による減少

⑤土地

- ・三重県名張市に取得済の土地を建設仮勘定より振替

⑥のれん

- ・のれん償却による減少

連結貸借対照表（負債・純資産の部）



(単位：百万円)	20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	前期末 増減
流動負債	7,999	9,098	8,416	7,454	▲ 962
買掛金	3,332	3,445	3,434	3,393	▲ 41
短期借入金等	3,134	3,991	3,732	2,864	① ▲ 868
リース債務	39	42	38	31	▲ 7
固定負債	8,022	8,971	8,750	7,443	▲ 1,307
長期借入金	6,777	7,611	7,372	6,062	② ▲ 1,310
リース債務	265	245	207	189	▲ 18
株主資本	10,046	10,475	11,404	12,016	③ +612
非支配株主持分	—	—	544	558	+14
純資産	10,170	10,484	11,927	12,607	+680
負債・純資産	26,193	28,554	29,094	27,505	▲ 1,589

①短期借入金

・約定返済の進展

②長期借入金

・約定返済の進展

③株主資本

・利益剰余金+609

連結キャッシュ・フロー



(単位：百万円)	21.2期	22.2期	23.2期	前期 増減額	
営業キャッシュフロー					①営業キャッシュ・フロー :
税金等調整前当期純利益	1,822	1,135	1,307	① +172	1,307百万円
減価償却費	1,441	1,476	1,313	▲ 163	・税金等調整前当期純利益は減少も売上債権、棚卸資産抑制により営業
のれん償却額	629	628	632	+4	キャッシュ・フローは
有価証券売却損益（▲は益）	208	242	209	▲ 33	前期比増加
売上債権増減額（▲は増加）	▲ 321	▲ 115	▲ 35	+80	②投資キャッシュ・フロー :
棚卸資産増減額（▲は増加）	86	▲ 153	▲ 118	+35	▲477百万円
仕入債務増減額（▲は減少）	49	▲ 119	▲ 14	+105	・投資有価証券売却による
	104	▲ 9	▲ 42	▲ 33	収入が前期比減少
投資キャッシュフロー	▲ 1,180	▲ 215	▲ 477	②	③財務キャッシュ・フロー :
投資有価証券売却による収入	1,112	750	306	▲ 262	▲2,366百万円
投資有価証券取得による支出	▲ 1,095	▲ 699	▲ 407	▲ 444	・長期借入金の約定返済
有形固定資産取得による支出	▲ 470	▲ 322	▲ 35	+292	の一方、折返し調達を
財務キャッシュフロー	590	64	▲ 2,366	▲ 2,432	抑制
長期借入金による収入	3,970	3,700	1,450	▲ 2,250	④現金及び現金同等物期末
長期借入金の返済による支出	▲ 3,401	▲ 3,627	▲ 3,627	0	残高 : 6,253百万円
非支配株主からの払込による収入	-	755	0	▲ 755	・財務CFの抑制が主因で
現金及び現金同等物増減額	1,232	984	▲ 1,536	▲ 2,520	現預金減少
現金及び現金同等物の期末残高	6,805	7,789	6,253	▲ 1,536	
			④		

有利子負債と資産・収益のバランス

ネット有利子負債と資産のバランス

(単位：百万円)	有利子負債	現預金	ネット 有利子負債	投資 有価証券	ネット 有利子負債 (投資有価証券除き)	賃貸不動産 簿価	ネット 有利子負債 (投有証・不動産除き)
	①	②	③ = ① - ②	④	③ - ④	⑤	③ - ④ - ⑤
メディカル一光	3,024	3,513	▲ 489	103	▲ 592	968	▲ 1,560
ハピネライフ一光	6,125	1,960	4,165	2	4,163	0	4,163
ヘルスケア・キャピタル	0	970	▲ 969	1,216	▲ 2,185	382	▲ 2,567
グループ全体	9,149	6,443	2,707	1,320	1,386	1,351	36

※ 1. 2023年2月末時点

2. メディカル一光は、調剤薬局事業・医薬品卸事業を運営する子会社を含み、

ハピネライフ一光は、ヘルスケア事業を運営する子会社を含む

3. 有利子負債はグループ内借入を除く



ネット有利子負債と収益力のバランス

(単位：百万円)	営業利益	減価償却費	のれん償却額	EBITDA
				⑥ + ⑦ + ⑧
グループ全体	935	632	209	1,776

※EBITDAは2023年2月期

ネット有利子負債
から投資有価証券
を控除した負債は
EBITDAの範囲内

業績および資産・負債等の推移



(単位：百万円)	18.2期	19.2期	20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	前期末 増減
売上高	30,914	31,222	32,042	31,603	33,595	33,897	+302
営業利益 ①	1,405	1,043	1,204	1,028	1,275	935	▲ 340
経常利益	1,384	1,053	1,225	1,201	1,357	1,227	▲ 130
税引前当期純利益	1,939	1,168	1,272	1,441	1,476	1,313	▲ 163
親会社株主に帰属する当期純利益	1,238	711	801	834	852	759	▲ 93
減価償却費 ②	627	653	634	629	628	632	+4
のれん償却額 ③	154	191	191	208	242	209	▲ 33
EBITDA ①+②+③	2,188	1,888	2,030	1,865	2,146	1,776	▲ 370
現預金 ④	5,655	5,306	5,694	7,003	7,992	6,443	▲ 1,549
有利子負債 ⑤	10,428	11,154	10,217	11,890	11,350	9,149	▲ 2,201
ネット有利子負債 ⑤-④	4,772	5,847	4,522	4,887	3,358	2,706	▲ 652
投資額	983	1,828	308	1,480	612	570	▲ 42
純資産額	9,300	9,551	10,170	10,484	11,927	12,607	+680
総資産額	25,723	26,206	26,193	28,554	29,094	27,505	▲ 1,589

主な経営指標の推移

		18.2期	19.2期	20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	前期末 増減
売上高経常利益率	%	4.5	3.4	3.8	3.8	4.0	3.6	▲ 0.4
売上高税引前利益率	%	6.3	3.7	4.0	4.6	4.4	3.9	▲ 0.5
自己資本比率	%	36.2	36.4	38.8	36.7	39.1	43.8	+4.7
EBITDA有利子負債倍率	倍	2.2	3.1	2.2	2.6	1.6	1.5	▲ 0.1
総資産利益率 (ROA)	%	4.9	2.7	3.1	3.1	3.0	2.7	▲ 0.3
自己資本利益率 (ROE)	%	14.2	7.5	8.1	8.1	7.8	6.5	▲ 1.3
投下資本利益率 (ROIC)	%	3.6	2.9	3.6	2.0	2.9	1.8	▲ 1.1
株価収益率 (PER)	倍	18.0	24.4	20.6	13.6	11.2	12.8	+1.6
株価純資産倍率 (PBR)	倍	2.4	1.8	1.6	1.1	0.8	0.8	0.0
1株当たり当期純利益 (EPS)	円	323.12	185.95	210.36	221.31	226.92	202.20	▲ 24.72
1株当たり純資産 (BPS)	円	2,427.01	2,505.51	2,667.87	2,791.36	3,030.61	3,207.14	+176.53

※当社は2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、

17.2期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

VI. 配当政策

- 24.2期の普通株式1株当たり配当金は、40円（中間20円、期末20円）を予定。
配当性向は20%を目安に検討していく方針。

		20.2期 実績	21.2期 実績	22.2期 実績	23.2期 実績	24.2期 計画	23.2期比 増減
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	801	834	852	759	765	+6
1株当たり当期純利益	円	420.73	442.62	226.92	202.20	203.61	+1.41
1株当たり配当金	円	85	80	40	40	40	0
配当性向	%	20.2	18.1	17.6	19.8	19.6	▲ 0.2
配当総額	千円	162,025	150,254	150,240	150,280	150,280	0
自己株式取得額	千円	0	352,000	0	0	—	—
総還元額	千円	162,025	502,254	150,240	150,280	—	—
総還元率（総還元性向）	%	20.2	60.2	17.6	19.8	—	—
株価（期末）	円	4,325	3,010	2,550	2,589	—	—

※1. 当社は2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益および

配当性向等は、21.2期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

2. 21.2期以前の1株当たり配当金は、分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

予測に関する注意事項



本資料には、当社または当社グループの業績、財務状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

お問い合わせ

〒514-0035
三重県津市西丸之内36番25号

TEL : 059-226-1193 (代表)
E-MAIL : ir@m-ikkou.co.jp
担当 : IR関連 財務・IR部
株式関連 管理部